

□主な内容

【第 46 回 EST 創発セミナーin 鹿追〔北海道〕を開催します！】

10 月 10 日(火)に、北海道鹿追町にて、多様なエネルギー活用による持続可能なまち・交通づくりをテーマに EST 創発セミナーを開催します。セミナー前には水素ステーション等の現地見学会を、セミナー後にはネットワーキング交流会を行います。オンラインだけでなく現地でのご参加を心よりお待ちしております。

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu73.html>

【第 14 回 EST 交通環境大賞の募集について掲載！】

地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の募集について掲載しました。

〔応募期間:10 月 6 日～2024 年 1 月 11 日〕

<https://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2023.html>

【第 47 回 EST 創発セミナーin 姫島〔九州〕を 12 月 11 日に開催します】

12 月 11 日(月)に第 46 回 EST 創発セミナーin 姫島〔九州〕「再エネで走る小型 EV で観光・生活交通の脱炭素化を進める」をハイブリッド開催します。詳細は後日掲載予定です。

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu2023.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 206 回)

●柳にポスト SDGs 時代の交通システムを思う

【和歌山大学経済学部 教授 辻本 勝久】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 206 回)

●WAKAYAMA8∞ ～サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり～

【和歌山県商工観光労働部観光局 観光振興課 課長 林 正尚】

3. ニュース／トピックス

●第14 回EST 交通環境大賞の募集について掲載しました【エコモ財団】

- 2050年カーボンニュートラルに向け、道路分野の取組を加速します ～カーボンニュートラル推進戦略中間とりまとめの公表～【国土交通省】
- 新しい国民運動「デコ活」第2弾について【環境省】
- 「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」を公表【国土交通省】
- 第22回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】
- グリーンイノベーション基金を活用して、商用電動車を使った「スマモビプロジェクト」が本格始動！商用電動車両を用いた実証において、産総研が運輸事業者から車両・走行データ等の受け入れを開始しました【経済産業省、産総研】
- 令和5年度バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業の公募について【環境省】
- 海の次世代モビリティを用いた実証実験を公募します！ ～沿岸、離島地域の課題解決のため、海の次世代モビリティの利活用法を検証～【国土交通省】
- 「地域コンソーシアム形成等を通じた地域脱炭素投融资促進事業」における「中・南九州地域コンソーシアム」の設立について【環境省】
- 「日本のバス 120 年」サイトを開設しました！【日本バス協会】
- 宮城県内の自治体初！名取市でエコ通勤 ～名取市役所がエコ通勤優良事業所として認証されました～【東北運輸局、名取市】
- 「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2023」を実施します！【四国運輸局】
- 「鉄道の日」記念イベント開催！【四国運輸局】
- 只見線サイクルトレイン導入に向けて関係者で運用実験を実施します【東北運輸局、只見線利活用推進協議会、JR 東日本東北本部】
- 9 月 20 日は「バスの日」です ～バスに親しんでいただくための様々なイベントを開催！～【中部運輸局】
- 四国カルストにおける期間限定シャトルバスについて【四国運輸局】
- 2023 年度地域・観光型 MaaS「回遊軽井沢」のサービスを開始します！【軽井沢町、JR 東日本、西武 HD】
- 湖国バス近江長岡線のルート変更などの実証運行を実施します【長浜市】
- SRT 社会実験「なごまちテラス」について 公共交通・歩行者中心のウォークアブルな空間を目指して【名古屋市】
- EV バス導入に向けたモデル構築に係る東京電力 HD 株式会社との事業連携協定の締結について【東京都交通局、東京電力 HD】
- AIオンデマンドバス「のーと射水」の実証運行について【射水市】
- 2023 年 10 月 1 日より、市街地エリアに AI オンデマンド交通システムを導入！「デマンド交通ひめさゆりのーとさんじょう」としてリニューアルします！【三条市】
- 日宇地区路線定期運行型乗合タクシー「すずかけ」の社会実験を行います！【佐世保市】
- 【土・日・祝日運行！期間限定予約型乗合タクシー】「べんてんリムジン」について【美祿市】
- 群馬県における EV カーシェアリング実証事業の開始について【群馬県、丸紅】

- 「大阪府自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画〔第 4 次〕(案)」に対する府民意見等の募集について【大阪府】
- EV を活用し災害時対応及び脱炭素社会実現に向け共創【新潟県、日産、新潟日産自動車、新潟日産モーター、日産サテリオ新潟、日産サテリオ新潟西、日産プリンス新潟販売】
- EV と再生可能エネルギーを活用したまちづくりに向け共創【境港市、日産、鳥取日産自動車販売、日産プリンス鳥取販売】
- バイオディーゼルや SAF を活用して脱炭素化に取り組む事業者を決定しました！【東京都】
- 電気自動車用充電設備導入支援補助金に係る交付申請等の受付期間延長について【大阪府】
- 「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」を実施します！【東京メトロ】
- KANSAIMaaS アプリのリリースについて ～国内初の鉄道事業者連携による広域型 MaaS アプリが始動！～【大阪メトロ、近鉄グループ HD、京阪 HD、南海電鉄、JR 西日本、阪急電鉄、阪神電鉄】
- 移動・暮らしを支え、人、まち、社会をつなぐ新しい会員基盤サービス「MobilityAuthBridge」の提供を開始 ～国内鉄道事業者初のデジタル社会インフラ基盤のアズ・ア・サービス化～【JR 西日本、NTT コミュニケーションズ】
- 「CentX」にウォーキング機能「エリア de ふらっとウォーク」が新登場 ～第 1 弾は「東濃鉄道廃線跡ウォーク～笠原鉄道編～」を開催します～【名鉄】
- スマートフォン 1 つで完結する旅をさらに便利に！9 月 12 日、EMot・EMot オンラインチケットでの「PayPay」決済スタート ～9 月 18 日からご利用額の最大 5%の PayPay ポイントが戻ってくる PayPay クーポンキャンペーンを実施～【小田急電鉄】
- 東京メトロ「列車運行情報データ」×「Yahoo!乗換案内」「Yahoo!マップ」列車ごとの運行状況がリアルタイムで確認可能になりました！【東京メトロ、Yahoo! JAPAN】
- 第 30 回鉄道の日イベントについて【JR 九州】
- 「サイクルトレイン愛ある伊予灘号」の運行について【愛ある伊予灘サイクルトレイン利用促進協議会、JR 四国】
- ユーロ建グリーンボンドの発行について【JR 東日本】
- JR 西日本とソフトバンクの「自動運転・隊列走行 BRT」開発プロジェクト、専用テストコースでの実証実験を完了し公道での実証実験を開始【JR 西日本、ソフトバンク】
- 長野県塩尻市で新型 EV バスを用いた自動運転レベル 4 に向けた走行試験を開始【ティアフォー】
- 東京・日本橋エリアの移動を便利にする MaaS サービス「&MOVE 日本橋」実証運行第二弾を 2023 年 9 月 4 日より開始 Near Me などとの共同プロジェクトによりオンデマンド型の相乗り交通サービスを展開【Share Tomorrow、三井不動産、ニアミー】
- 岐阜県羽島市でエリア定額乗り放題“mobi”をサービス開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～【Community Mobility】

- 「共同輸配送プラットフォーム」の運用実証を開始 ～サステナブルなサプライチェーンを支える物流網の改善を目指す～【日本電気】
- 電気小型トラック「eCanter」新型モデル約 900 台を全国に導入【ヤマト運輸】
- 自動運転技術を活用した次世代の物流システム構築を目指す株式会社 T2 へ出資 ～日本初の自動運転トラックに対応した物流ネットワーク構築を支援～【JA三井リース】
- EV トラック普及拡大に向けた経路充電の実証実験を開始【日本電気、ENEOS 日本通運】
- 業界初「EV ボトルカー（茶殻配合軽量パネル搭載型）」を、2023 年 10 月より順次導入開始 環境負荷低減(CO<sub>2</sub> 排出量ゼロ・茶殻リサイクル) × 社員の働きやすさ【伊藤園】
- 国際海上コンテナを使用した国内中継輸送サービス「Sea&RailFT」を開始【NIPPON EXPRESS HD、日本通運】
- 「秘匿クロス統計技術」を用いて北海道内の移動ニーズを把握する実証実験を開始【JAL、JAL カード、HAC、ドコモ】
- 資源の有効活用で気候変動対策に貢献 百貨店業界初 国産 SAF 製造を目的とした廃食用油の供給に協力する基本合意書を締結【J.フロントリテイリンググループ、大丸松坂屋百貨店、日揮 HD、レポインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY】
- 東京都バイオ燃料活用における事業化促進支援事業採択について ～リニューアブルディーズを用いた脱炭素化推進事業～【ANA】
- 自動運転シャトルで提携【シエフラー、VDL Groep】
- ヨーロッパ最大級の自動車ショー ドイツや中国が最新 EV を披露【ドイツ自動車工業会】

#### 4. イベント情報

- 第 46 回 EST 創発セミナー in 鹿追〔北海道〕【2023/10/10】
- 第 26 回日本福祉のまちづくり学会 全国大会(宇都宮)連携セミナー「LRT を軸に地域の移動と交通を考える」【2023/9/29】
- 2023 年鉄道ロゲイニング in 四日市【2023/9/30】
- 鉄道フェスティバル in 東北【2023/10/1】
- 新京成サックスフェスタ 2023 in くぬぎ山【2023/10/7】
- 「新幹線フェスタ 2023 in 長崎・熊本【2023/10/7、11/3】
- 第 30 回「鉄道の日」記念イベント【2023/10/7-8】
- 第 30 回「鉄道フェスティバル」【2023/10/8-9】
- ゆるくまわろう!!鉄ロゲ in 生駒市・東大阪市【2023/10/9】
- めでたいでんしゃで行く! Well-being Tour【2023/10/9】
- 空港施設ユニバーサルデザインセミナー in 羽田【2023/10/12-13】
- 三次鉄道部鉄道の日イベント【2023/10/14】
- 第 30 回「鉄道の日」記念イベント【2023/10/15】
- 鉄道わくわく大運動会 in みなかみ【2023/10/15】

- 新幹線ふれあいデー【2023/10/15】
- 自動配送ロボットに関する自治体首長サミット【2023/10/16】
- 物流業界の「2024 年問題」対策セミナー【2023/10/20】
- 「きんてつ鉄道まつり 2023in 五位堂」【2023/10/21-22】
- ファミリーレールフェア 2023【2023/10/22】
- 「京成電鉄宗吾車両基地キッズフェスタ」【2023/10/28】
- ラッセル車両撮影会 in 旭川運転所【2023/10/28】
- 「エンジョイエコドライブおかやま」【2023/10/28】
- みんなで描こう！鉄橋トレインスケッチ大会&トロッコ列車ピクニック【2023/10/29】
- 乗用車のエコドライブ講習認定申請のための2023年度インストラクター養成研修会【2023/11/2】
- 地域循環共生圏フォーラム 2023【2023/11/7】
- 「きんてつ鉄道まつり 2023in 塩浜」【2023/11/11-12】

#### 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 206 回)

●柳にポスト SDGs 時代の交通システムを思う

【和歌山大学経済学部 教授 辻本 勝久】

週に 1 度、能の流派のひとつである観世流の稽古場に通っています。仕舞「遊行柳(ゆぎょうやなぎ)」の稽古を終え、お茶を頂いていると、師匠の奥さまが「最近、柳を見かけませんね」とおっしゃいました。確かにそうだなあと思い、帰宅後に調べてみると、1987 年には全国に 10.9 万本あったシダレヤナギの街路樹が、2017 年には 2.3 万本にまで減少していることがわかりました。同期間にケヤキが 13.3 万本から 46.2 万本へと増加しているのに比べると、シダレヤナギの退勢は明らかです<sup>1)</sup>。西行法師は「道の辺に清水流るる柳陰しばしとてこそ立ちどまりつれ」(新古今和歌集)と詠みました。2023 年の夏は異常な暑さでした。歩道に涼しげな木陰をつくってくれる柳の良さを改めて認識してみませんか。

柳と言えば想起されるのが、「柳の枝に雪折れなし」とも言われるその柔軟性です。柳の枝が持っているような、しなやかな強さを強靱性(レジリエンス)といいます。レジリエンスは SDGs にも盛り込まれています。たとえばターゲット 13.1 は「すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対するレジリエンス及び適応力を強化する」となっています。また目標 11 は「包摂的で安全かつレジリエントで持続可能な都市及び人間居住を実現する」ことを目指すものとされています。いずれも交通システムにも関係するものです<sup>2)</sup>。

2015 年 9 月の国連サミットで SDGs が採択されてから今月でちょうど 8 年。目標年次である 2030 年に向けて折り返し地点を過ぎたところです。そろそろ「ポスト SDGs」に関する議論が盛んになってきて良い頃です<sup>3)</sup>。

世界では激甚な自然災害が増加し、新型コロナウイルスが猛威を振るい、ロシアがウクライナを侵略するなど、社会の根幹を揺るがすできごとが立て続けに起こっています。そのような激動の中であればあるほど、困難な状況に耐え、回復し、適応するレジリエンスに注目が集まります。現に、わが国の全国紙を対象として、レジリエンスを含む記事を数えてみたところ、2015 年から 2019 年までは毎年数十本だったものが、2020 年から 2022 年までは毎年 130 本台に増加しています<sup>4)</sup>。今年の G7 交通大臣宣言にも resilience や resilient が 8 回出てきました。ポスト SDGs では、環境、社会、経済の各面において、交通システムのレジリエンスの強化に関連する内容がさらに増えるのではないのでしょうか。

---

1) 飯塚康雄・舟久保敏(2018)「わが国の街路樹Ⅷ」、国土技術政策総合研究所資料 No.1050

2) 詳しくは辻本勝久(2023)『SDGs 時代の地方都市圏の交通まちづくり』学芸出版社をご参照ください。

3) 日本経済新聞社等が「日本版 Well-being Initiative」を創設し、ポスト SDGs のアジェンダとしてウェルビーイングを位置づけることを目指したり(2022 年 1 月 3 日付け日本経済新聞朝刊)、広島県が国際 NGO を設立してポスト SDGs への核兵器廃絶の盛り込みを目指したり(2022 年 4 月 6 日付け大阪読売新聞)といった動きが既に始まっています。

4) 日経テレコンで、日本経済新聞朝刊・夕刊、読売新聞、産経新聞、毎日新聞、朝日新聞を対象に、キーワードを「レジリエンス」として記事検索を行った結果です。

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 206 回)

### ●WAKAYAMA8∞ ～サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり～

【和歌山県商工観光労働部観光局 観光振興課 課長 林 正尚】

近年、サイクリングは健康志向の高まりや環境にやさしい移動手段として、ますます注目が高まっています。和歌山県では、他の交通手段だけでは行くことができない場所を自転車で巡ってもらうことで、集客力の弱かった地域に観光客を誘導し、県内周遊を促進することにより、地域の消費拡大にもつながればと考え、8 年ほど前からサイクリング施策に取り組んでいます。

本県のサイクリング施策の展開にあたり「WAKAYAMA8∞」というニックネームを付け、サイクリストを比較的車の少ないおすすめの前周遊ルートに誘導するため、県内全域にブルーのラインを整備し、その距離が 800km 以上に渡っていることが、「800」の由来となっています。



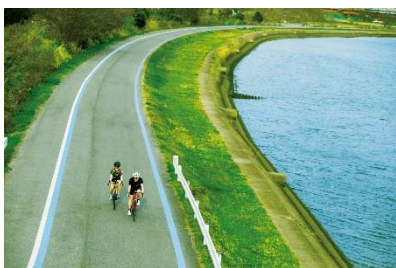
また、県内には旅の目的地となる世界遺産「高野山・熊野三山」はじめ海・山・川の絶景や源泉かけ流しの温泉などもたくさんあり、これら観光資源とサイクリングを組み合わせることで、「無限大にサイクリング旅が楽しめる和歌山県」という意味も込めて、800 の「00」の部分は無限大(∞)のマークとなっています。

次に、サイクリング施策に必要な受入環境の整備について、本県では「サイクリストに優しい宿」の認定や「サイクルステーション」の設置などを実施しております。

また、JR西日本にご協力いただきながら、「きのくに線」全線において普通列車に自転車を折りたたまずそのまま持ち込める、サイクルトレインを運行していただいております。最近では特急列車「くろしお」の一部区間にも自転車をそのまま持ち込めるようにしていただいております。

さらに、情報発信・誘客プロモーションについては、サイクリングの公式ウェブサイトをはじめ、専門誌や自転車系 YouTuber とタイアップした情報発信に加え、モバイルスタンプラリーにより県内の周遊促進やリピーターの獲得に取り組んでおります。

また、サイクリングイベントの補助制度も設け、民間事業者などによるイベントが県内で数多く実施され、様々な地域で盛り上がりを見せているところです。



今後も引き続き、サイクリングを活用した持続可能な観光地づくりを進めるために、環境にやさしく健康増進にもつながる様々なサイクリング施策を推進してまいりたいと考えております。

---

### 3. ニュース／トピックス

#### ● 第 14 回 EST 交通環境大賞の募集について掲載しました【エコモ財団】

EST 普及推進委員会およびエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の応募について掲載しました。応募期間は 2023 年 10 月 6 日～2024 年 1 月 11 日です。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。

<https://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2023.html>

#### ● 2050年カーボンニュートラルに向け、道路分野の取組を加速します ～カーボンニュートラル推進戦略中間とりまとめの公表～【国土交通省】

国土交通省は、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指し、「道路におけるカーボンニュートラル推進戦略」を中間的にとりまとめました。カーボンニュートラルの実現には、関係機関との連携、他分野との共創領域の深掘りが不可欠です。今後、様々な分野の機関と連携し、施策のロードマップ等を検討して、2023 年度中に最終とりまとめの予定です。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001698.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001698.html)

#### ● 新しい国民運動「デコ活」第2弾について【環境省】

環境省は、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動の愛称である「デコ活」の普及浸透に向けた第 2 弾として、以下の取組を公表しました。

- ① ロゴマーク、メッセージ及び「デコ活アクション」の決定
- ② 国民に対して、「デコ活宣言」の実施や「#デコ活」として発信することへの協力依頼
- ③ 組織・制度・予算に「デコ活」を関した愛称を付け、ワンメッセージで普及を後押し

また、「デコ活」の生みの親である選定委員の協力も仰ぎ、認知拡大・普及を進め、豊かなより良い暮らしに向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を後押ししていきます。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02079.html](https://www.env.go.jp/press/press_02079.html)

#### ● 「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」を公表【国土交通省】

国土交通省は、2023 年 4 月 28 日に公布された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」の施行に向けて、「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」を変更し、8 月 31 日に公表しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000330.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000330.html)

#### ● 第22回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】



国土交通省は、「日本鉄道賞」の受賞者が決定したことを発表しました。「日本鉄道賞」は、「鉄道の日」創設の趣旨である鉄道に対する国民の理解と関心を深め、国民の強力な支持を得るとともに、鉄道の一層の発展を期することを目的としており、鉄道に関する優れた取組に対して表彰するものです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01\\_hh\\_000194.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000194.html)

●グリーンイノベーション基金を活用して、商用電動車を使った「スマモビプロジェクト」が本格始動！商用電動車両を用いた実証において、産総研が運輸事業者から車両・走行データ等の受け入れを開始しました【経済産業省、産総研】

(国研)産業技術総合研究所は、経済産業省が NEDO に立ち上げたグリーンイノベーション基金の一環で実施する「スマートモビリティ社会の構築」プロジェクト(スマモビプロジェクト)において、バス・トラック・タクシーの運輸事業者から商用 EV の車両・走行データやインフラ等データの受け入れを開始しました。

今後受け入れるデータを拡大していくことで、運行管理と一体的なエネルギー管理システムを検討するとともに、それを支えるシミュレーション技術の研究開発・実証を実施します。

<https://www.meti.go.jp/press/2023/08/20230831001/20230831001.html>

●令和5年度バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業の公募について【環境省】

環境省は、地域の再生可能エネルギーを最大限に活用した持続可能かつ地域貢献型の脱炭素型交通・物流モデルを構築することを目的とし、用途に応じたバッテリー交換式 EV の開発及び実証を行っています。

2022 年度に引き続き、バッテリー交換式 EV 開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業の公募を開始しました。公募期間は、10 月 6 日までです。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02080.html](https://www.env.go.jp/press/press_02080.html)

●海の次世代モビリティを用いた実証実験を公募します！ ～沿岸、離島地域の課題解決のため、海の次世代モビリティの利活用法を検証～【国土交通省】

国土交通省は、「令和 5 年度海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」として、海の次世代モビリティの我が国沿岸、離島地域における利活用法を実証するための実験を公募しています。公募期間は、10 月 2 日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo11\\_hh\\_000069.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo11_hh_000069.html)

●「地域コンソーシアム形成等を通じた地域脱炭素投融資促進事業」における「中・南九州地域コンソーシアム」の設立について【環境省】

環境省は、脱炭素に向けた資金供給を加速化するために、2023 年度より、地域の金融機関を核とし、地方公共団体や地方支分部局等で構成するコンソーシアムを形成し、株式会社脱炭素化支援機構等の政府系金融機関との連携の下、脱炭素投融資対象案件の創出を支援する「地域コンソーシアム形成等を通じた地域脱炭素投融資促進事業」を行っています。

同事業において、株式会社肥後銀行、株式会社大分銀行、株式会社宮崎銀行及び株式会社鹿児島銀行を核とする「中・南九州地域コンソーシアム」を形成し、同地域内において新たな脱炭素事業を創出し、脱炭素投融資を加速化する取組を進めていくことになりました。

このコンソーシアムの形成には、九州地方環境事務所とこれら 4 行による「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」の枠組みを活用しています。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02108.html](https://www.env.go.jp/press/press_02108.html)

●「日本のバス 120 年」サイトを開設しました！【日本バス協会】

日本のバスは、明治 36(1903)年に京都で運行が開始されてから、本年 9 月 20 日で 120 年を迎えます。

公益社団法人日本バス協会では、「バス 120 年」を機により多くの皆さまにバスについて知っていただけるよう「日本のバス 120 年」サイトをオープンしました。

<https://www.bus.or.jp/news/9349/>

●宮城県内の自治体初！名取市でエコ通勤 ～名取市役所がエコ通勤優良事業所として認証されました～【東北運輸局、名取市】

2023 年 8 月 31 日付で、エコ通勤に関して高い意識を持ち、エコ通勤に関する取組を積極的に推進している事業所として、名取市役所が認証、登録されました。宮城県内の地方自治体では初めての認証、登録となります。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000302519.pdf>

●「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2023」を実施します！【四国運輸局】

四国公共交通利用促進協議会は、公共交通への理解を深め、利用を促すことを目的として、9 月 9 日から 10 月 15 日まで、「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2023」を実施しています。キャンペーンでは、地方自治体、国、交通事業者、NPO 法人などが連携し、公共交通を身近に感じてもらうためのイベント等を実施します。

<https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/content/000301548.pdf>

●「鉄道の日」記念イベント開催！【四国運輸局】

1872 年 10 月 14 日新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業したことを記念し、1994 年に、毎年 10 月 14 日を「鉄道の日」と定められました。四国運輸局管内は、鉄道への理解

と関心がより深まることを目的とし、多彩な「鉄道の日」記念イベントを実施します。なお、2023 年で「鉄道の日」が制定されて 30 周年を迎えます。

[https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/content/20230915\\_tetsudounohi.pdf](https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/content/20230915_tetsudounohi.pdf)

●只見線サイクルトレイン導入に向けて関係者で運用実験を実施します【東北運輸局、只見線利活用推進協議会、JR 東日本東北本部】

JR 只見線において、只見線利活用推進協議会、国土交通省東北運輸局及び東日本旅客鉄道株式会社東北本部の三者が連携し、列車内に折りたたみ自転車を持ち込めるサービス「サイクルトレイン」の運用実験を行っています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000302788.pdf>

●9 月 20 日は「バスの日」です ～バスに親しんでいただくための様々なイベントを開催！～  
【中部運輸局】

毎年 9 月 20 日は「バスの日」として、中部運輸局管内各県においてバス業界のイメージアップや利用促進を目的とした啓発活動や関連イベント等が行われています。

バス輸送は、通勤、通学など地域の生活交通の一翼を担うほか、バスツアーなどの場面で輸送手段として観光を支えるなど、生活に密着した移動手段として重要な役割を担っています。バス業界は、必要経費の高騰、深刻なドライバー不足など厳しい経営環境に置かれている中、日々の安全、安心な輸送サービスを提供し続けています。

「バスの日」関連イベントを通じ、日頃バスを利用している人はもちろん、バスに接する機会の少ない人にも、身近な公共交通としてのバスについて理解を深めてもらい、利用を通じて地域の足を維持することの重要性を共有してもらうことを目指しています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/jikou2023090602.pdf>

●四国カルストにおける期間限定シャトルバスについて【四国運輸局】

四国運輸局は、久万高原町、津野町、梶原町と連携し、四国カルストにおける交通渋滞や道路狭隘による交通トラブルの軽減及び訪日外国人旅行者などの公共交通機関による来訪に繋がる取組を検討すべく「四国カルストにおけるパークアンドライド方式及び公共交通機関接続による交通アクセス実証運行調査事業」を実施し、取組の一環として、四国カルストで期間限定シャトルバスを実証運行することを発表しました。実施期間は、9 月 16 日から 10 月 9 日までです。

<https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/content/000302752.pdf>

●2023 年度地域・観光型 MaaS「回遊軽井沢」のサービスを開始します！【軽井沢町、JR 東日本、西武 HD】

東日本旅客鉄道株式会社と株式会社西武 HD は、2020 年 12 月に包括的連携を行い、新たなライフスタイルの創造と地方創生に向けて取組を進めています。2021 年度および

2022 年度に続き、“まちづくりに向けた長期的な連携”の一環として、軽井沢町において自治体や交通・観光事業者等と連携し、地域・観光型 MaaS「回遊軽井沢」のサービスを提供します。2023 年度は軽井沢町も本事業に参画し、観光客だけでなく地域の人も利用しやすいサービスを目指します。具体的にはオンデマンド交通「よぶのる軽井沢」において軽井沢町を含めた 3 者で実証運行を行います。これまでの「回遊軽井沢」のサービスからさらに利便性を高めるため、交通チケットの見直し、観光チケットの拡充を行うとともに、一部 Web サイトの多言語対応化によりインバウンド利用促進を図ります。

[https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230828\\_ho02.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230828_ho02.pdf)

●湖国バス近江長岡線のルート変更などの実証運行を実施します【長浜市】

湖国バスの近江長岡線の一部の便では、2023 年 10 月 1 日から、市立長浜病院を経由しない駅間直行便とする実証運行を行います。

近年、人口減少やコロナ禍等の影響で、地域の公共交通は大変厳しい状況が続いています。一方、このような状況にあっても、地域住民の移動手段として不可欠な公共交通は、今後も安定的に継続することが求められています。

「近江長岡線」は、通院や買い物、通勤・通学など、地域の公共交通機関として、重要な役割を担っています。実証運行は、地域の公共交通ネットワークを維持するため、地域の交通軸である近江長岡線を活性化する取組です。

<https://www.city.nagahama.lg.jp/0000013222.html>

●SRT 社会実験「なごまちテラス」について 公共交通・歩行者中心のウォークアブルな空間を目指して【名古屋市】

名古屋市の新たな路面公共交通システム SRT の当初運行(名駅一栄)では、ウォークアブルな空間形成と合わせ、バス利用者が乗り降りしやすいテラス型の乗降・待合空間を目指しています。

広小路通のバス停をテラス型「なごまちテラス」として暫定整備する社会実験を開始しました。実施期間は、9 月 16 日から 11 月 30 日までです。

<https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000166694.html>

●EV バス導入に向けたモデル構築に係る東京電力 HD 株式会社との事業連携協定の締結について【東京都交通局、東京電力 HD】

東京都交通局は、都営バス車両の更なる ZEV 化を推進し、ゼロエミッション東京の実現に貢献するため、EV バスの導入について調査・検討を行っています。東京電力 HD 株式会社と、互いに有する知見や事業環境等を活用し、大都市における EV バス導入モデルを構築していくことについて合意し、事業連携協定を締結しました。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/09/14/19.html>

●AIオンデマンドバス「のるーと射水」の実証運行について【射水市】

AIオンデマンドバス「のるーと射水」は、時刻表や決まった運行ルートがなく、AIが予約に応じて運行ルートを考えながら走る新しい乗合バスで、乗りたい時に、アプリや電話でバスを呼ぶことができます。射水市は10月2日から、射水市南東エリアで実証運行を開始します。

<https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=46819>

●2023年10月1日より、市街地エリアにAIオンデマンド交通システムを導入！「デマンド交通ひめさゆりのるーとさんじょう」としてリニューアルします！【三条市】

三条市では、10月1日より、市街地エリアにおける既存のデマンド交通に、AIによる配車予約システムを導入します。「デマンド交通ひめさゆりのるーとさんじょう」としてリニューアルし、料金が一律500円となり、更に利用しやすくなります。

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/soshiki/shimimbu/kankyoka/seikatsuanzen/kokyokotsu/2454.html>

●日宇地区路線定期運行型乗合タクシー「すずかけ」の社会実験を行います！【佐世保市】

佐世保市では、地域・事業者・市の三者が、日宇地区の移動手段を確保するため、路線定期運行型乗合タクシーの導入に向けて協議を重ねています。本格運行の可能性を探るため、9月4日から11月30日まで、乗合タクシー「すずかけ」を運行する社会実験を実施しています。

<https://www.city.sasebo.lg.jp/kikaku/koukou/suzukake2.html>

●【土・日・祝日運行！期間限定予約型乗合タクシー】「べんてんリムジン」について【美祢市】

美祢市は、雄大で美しい景観を持つ日本最大級のカルスト台地「秋吉台」と人気の観光地「別府弁天池」やJR美祢線於福駅をつなぐ観光交通手段として、乗合タクシー「べんてんリムジン」の実証運行を実施します。運行日は、9月2日から11月26日までの土日祝日です。

パワースポットや映えスポットとして高い人気を得ている「別府弁天池」だけでなく、新たな観光スポットである「大嶺酒造」にも乗り場を設定し、若者や女性を中心に注目を集めるカフェでまったりすることも可能にしました。

新山口駅発のバスが到着する秋芳洞の「秋吉台観光交流センター」と、美祢線の「於福駅」をつなぐ路線となることから、公共交通を利用しての行動範囲が広がることを目指しています。

<https://karusuto.com/notice/benten-limousine-taxi2023/>

●群馬県におけるEVカーシェアリング実証事業の開始について【群馬県、丸紅】

丸紅株式会社は、2023年2月に締結した群馬県におけるEVカーシェアリング実証事業の実施に関する契約に基づき、8月1日より実証事業を開始しました。また、2023年9月2



日から 2026 年 6 月 28 日までの土日祝祭日には、一般利用者向けに休日のカーシェアリングを実施しています。

<https://www.marubeni.com/jp/news/2023/info/00028.html>

●「大阪府自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画〔第 4 次〕(案)」に対する府民意見等の募集について【大阪府】

大阪府は、自動車から排出される窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)による大気汚染を改善するため、自動車 NOx・PM 法に基づき総量削減計画を策定し、自動車環境対策を総合的に推進しています。

2022 年 11 月に改定された国の総量削減基本方針や、府内における大気環境の状況等を踏まえ、「電動車等の普及促進」をはじめとした総合的な自動車排出ガス対策をさらに推進するため、第 4 次の総量削減計画案を作成しました。大阪府パブリックコメント手続実施要綱に基づき、府民からの意見・提言を募集しています。募集期間は 10 月 10 日までです。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=48788>

●EV を活用し災害時対応及び脱炭素社会実現に向け共創【新潟県、日産、新潟日産自動車、新潟日産モーター、日産サテオ新潟、日産サテオ新潟西、日産プリンス新潟販売】

新潟県と日産自動車株式会社および新潟日産自動車株式会社、新潟日産モーター株式会社、株式会社日産サテオ新潟、株式会社日産サテオ新潟西、日産プリンス新潟販売株式会社の 7 者は、9 月 8 日、「電気自動車を活用した災害時対応及び脱炭素社会の実現に関する協定」を締結しました。新潟県内の自治体との連携協定は日産自動車として初となります。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/230908-01-j?origin=channel-ee2d001866d2b4a381924af5af2f5fed>

●EV と再生可能エネルギーを活用したまちづくりに向け共創【境港市、日産、鳥取日産自動車販売、日産プリンス鳥取販売】

境港市と、日産自動車株式会社、鳥取日産自動車販売株式会社および日産プリンス鳥取販売株式会社の 4 者は、8 月 23 日、カーボンニュートラルなまちづくりの実現に向けて EV を活用する包括連携協定を締結しました。

境港市は、2022 年第一回脱炭素先行地域に選定され、再生可能エネルギーの地産地消とゼロカーボンシティの早期実現に取り組んでいます。さらなる脱炭素化を進めるため、本協定を機に EV の普及・活用を行い持続可能で強靱なまちづくりを推進していきます。

日産自動車は、これまで培ってきた EV に関するノウハウやネットワークを活かし、脱炭素、災害対策、エネルギーマネジメント、観光、地方での交通課題などの地域課題解決により、社会変革をしていく日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を推進しています。SDGs の達成や EV の普及によるゼロエミッション社会の実現を通じ、人とクルマと自然が共生し、住む人が

ワクワクするまちづくりによる地域社会の発展に貢献するため、全国の自治体・企業と共に活動しています。

日産自動車が進める「ブルー・スイッチ」と境港市が目指す脱炭素社会の実現に向けた取組に各者が賛同し、本協定の締結を行う運びとなりました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/230823-00-j>

● バイオディーゼルや SAF を活用して脱炭素化に取り組む事業者を決定しました！【東京都】

東京都は、電力の HTT（(H)減らす・(T)創る・(T)蓄める）を推進するとともに、ゼロエミッション東京の実現に向けた対策を進めており、環境負荷の少ないバイオ燃料（バイオディーゼル、SAF 等）を活用した車両・船舶・航空機等の事業化に向けた取組を支援する「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」を実施しています。

3 件（バイオ燃料 1 件、混合バイオ燃料 2 件）の支援を決定しました。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/09/04/07.html>

● 電気自動車用充電設備導入支援補助金に係る交付申請等の受付期間延長について【大阪府】

大阪府は、EV の普及を促進し、自動車から排出される二酸化炭素等の削減を図ることを目的として、大阪府民が利用する駐車場における EV の充電設備の設置を「EV 用充電設備導入支援補助金」にて支援しています。

補助金の交付申請及び実績報告の受付期限延長を発表しました。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=48881>

● 「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」を実施します！【東京メトロ】

東京地下鉄株式会社は、2023 年度で 8 回目の開催となるオープンイノベーションプログラム「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」を実施します。

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」は、「新規事業創出プログラム」と「鉄道事業課題解決プログラム」の 2 つのプログラムを設けており、幅広い外部連携を通じて、新たな事業領域に積極的に挑戦することを目指しています。

「新規事業創出プログラム」は、2023 年 9 月 11 日から 10 月 31 日まで、専用 WEB サイトでのエントリーを受け付けています。審査を通過した企業と事業検証等を通して事業展開を検討していく予定です。

<https://www.tokyometro.jp/news/2023/216286.html>

● KANSAIMaaS アプリのリリースについて ～国内初の鉄道事業者連携による広域型 MaaS アプリが始動！～【大阪メトロ、近鉄グループ HD、京阪 HD、南海電鉄、JR 西日本、阪急電鉄、阪神電鉄】

関西に主要路線を持つ、大阪市高速電気軌道株式会社、近鉄グループHD株式会社、京阪 HD 株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社を運営主体とする関西 MaaS 協議会は、2023 年 9 月 5 日、関西地域での外出に便利な機能が数多く盛り込まれたスマートフォンアプリ「KANSAIMaaS」をリリースしました。

アプリでは、主に関西地域におけるマルチモーダルでの乗換経路検索、電子チケットサービス、レジャー・宿泊施設・モデルコース等の観光関連情報の各サービスに加え、駅構内図や列車走行位置情報への連携など鉄道 7 社ならではの情報サービスも併せてワンストップで提供します。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230905\\_00\\_press\\_kansaimaas.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230905_00_press_kansaimaas.pdf)

●移動・暮らしを支え、人、まち、社会をつなぐ新しい会員基盤サービス「MobilityAuthBridge」の提供を開始 ～国内鉄道事業者初のデジタル社会インフラ基盤のアズ・ア・サービス化～【JR 西日本、NTT コミュニケーションズ】

西日本旅客鉄道株式会社は、8 月 28 日、NTT コミュニケーションズ株式会社の支援を受け、移動・暮らしを支え、地域で提供されるさまざまなサービスをつなぐ新たな会員基盤サービス「MobilityAuthBridge」の提供開始を発表しました。MAB は、大阪・関西万博に向け、関西・鉄道 7 社が連携し、関西地域におけるシームレスな移動手段の提供のため 2023 年夏にサービスの提供開始を予定している「関西 MaaS アプリ(仮称)」の会員基盤サービスとして採用されます。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230828\\_00\\_press\\_mobilityauthbridge.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230828_00_press_mobilityauthbridge.pdf)

●「CentX」にウォーキング機能「エリア de ふらっとウォーク」が新登場 ～第 1 弾は「東濃鉄道 廃線跡ウォーク～笠原鉄道編～」を開催します～【名鉄】

名古屋鉄道株式会社は、名鉄グループ沿線、地域の交通、生活、観光サービスをつなぎ、シームレスでストレスフリーな移動の実現を目指すエリア版 MaaS 構想を推進しています。名古屋鉄道は、エリア版 MaaS 構想における「地域の皆さまの『おでかけ』に役立つさまざまな利便性の高い情報の提供」の一環としてエリア版 MaaS アプリ CentX の新たな機能「エリア de ふらっとウォーク」を 9 月 12 日より導入しています。より魅力的なウォーキングコースを多数掲載することで、地域の人の楽しみながらの健康づくりにつながることを目指しています。

[https://www.meitetsu.co.jp/profile/news/2023/\\_icsFiles/afieldfile/2023/09/12/23-09-12areadefurattowalk.pdf](https://www.meitetsu.co.jp/profile/news/2023/_icsFiles/afieldfile/2023/09/12/23-09-12areadefurattowalk.pdf)

●スマートフォン 1 つで完結する旅をさらに便利に！9 月 12 日、EMot・EMot オンラインチケットでの「PayPay」決済スタート ～9 月 18 日からご利用額の最大 5%の PayPay ポイントが戻ってくる PayPay クーポンキャンペーンを実施～【小田急電鉄】

小田急電鉄株式会社が提供する MaaS アプリ「EMot」とデジタルチケット購入サイト「EMot オンラインチケット」では、2023 年 9 月 12 日から、スマートフォン決済サービス「PayPay」を利



用できるようになります。また、9月18日から10月15日まで、アプリ・サイトにて9月8日時点で販売中の全チケットを対象に、チケット代金の最大5%のPayPayポイントを戻すPayPayクーポン配布キャンペーンを実施します。

アプリ・サイトでは、箱根や江の島、丹沢・大山など小田急沿線の観光に便利なフリーパス等のほか、西武鉄道や遠州鉄道沿線など全9エリア87種類のデジタルチケットを販売しています。9月12日からは、主力商品である「デジタル箱根フリーパス」「特急ロマンスカー EMot 電子特急券」を、9月18日からは、残るチケットをPayPayで購入できるようになります。従来のクレジットカードのみから、スマートフォンアプリでの支払いを加え、決済方法を拡充し利便性を高めます。

<https://www.odakyu.jp/news/dq40940000003cz5-att/dq40940000003czc.pdf>

●東京メトロ「列車運行情報データ」×「Yahoo!乗換案内」「Yahoo!マップ」列車ごとの運行状況がリアルタイムで確認可能になりました！【東京メトロ、Yahoo! JAPAN】

東京地下鉄株式会社は、ヤフー株式会社と連携し、Yahoo!JAPAN が提供する乗換検索アプリ「Yahoo!乗換案内」、及び地図アプリ「Yahoo!マップ」に、東京メトロが保有する「列車運行情報データ」を提供することにより、アプリ上で列車ごとの運行状況がリアルタイムで確認できるサービスを開始しました。

<https://www.tokyometro.jp/news/2023/216196.html>

●第30回鉄道の日イベントについて【JR九州】

九州旅客鉄道株式会社は、10月14日の「鉄道の日」の記念イベントとして、10月から11月にかけて、九州各地でさまざまな体験やミニトレインの運行など数多くのイベントを開催します。イベントを通して公共交通に興味を持ってもらうことで、公共交通の利用促進に繋がることが期待できます。

[https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/\\_icsFiles/afiedfile/2023/09/14/230914\\_railway\\_day\\_2.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/_icsFiles/afiedfile/2023/09/14/230914_railway_day_2.pdf)

●「サイクルトレイン愛ある伊予灘号」の運行について【愛ある伊予灘サイクルトレイン利用促進協議会、JR四国】

JR予讃線では、伊予市双海町から大洲市長浜町を経て八幡浜市へ続く、海岸線「夕やけこやけライン」の絶景や、肱川周辺の豊かな自然を堪能できる南予地域へのサイクリストの更なる誘客促進及び利便性向上を図るため、「サイクルトレイン愛ある伊予灘号」を運行します。運行日は、10月7日、8日、14日の三日間です。

[https://www.jr-shikoku.co.jp/03\\_news/press/2023%2009%2011.pdf](https://www.jr-shikoku.co.jp/03_news/press/2023%2009%2011.pdf)

●ユーロ建グリーンボンドの発行について【JR東日本】

東日本旅客鉄道株式会社は、ユーロ・ユーロ建グリーンボンド・普通社債の発行条件を、8月29日に決定しました。

発行する社債は、9年600百万ユーロおよび20年700百万ユーロ、合計1,300百万ユーロです。発行によって得られた資金は、グリーン適格基準を満たすプロジェクトのみに充当する予定です。

[https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230830\\_ho01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230830_ho01.pdf)

●JR西日本とソフトバンクの「自動運転・隊列走行 BRT」開発プロジェクト、専用テストコースでの実証実験を完了し公道での実証実験を開始【JR西日本、ソフトバンク】

西日本旅客鉄道株式会社とソフトバンク株式会社は、自動運転と隊列走行技術を用いた BRT の開発プロジェクトにおいて、2021年10月に開始した専用テストコース(野洲市)での実証実験を2023年7月に完了し、社会実装に向けた次のステップとして、2023年11月から公道(東広島市)での実証実験を予定しています。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230915\\_00\\_press\\_brt1.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230915_00_press_brt1.pdf)

●長野県塩尻市で新型 EV バスを用いた自動運転レベル4に向けた走行試験を開始【ティアフォー】

株式会社ティアフォーは、自動運転レベル4の社会実用化に向け、塩尻市にて新型の EV バスを用いた自動運転の走行試験を開始しました。2024年度には一部ルートにおける道路運送車両法に基づくレベル4の認可取得、2025年度には自動運転サービスの本格提供を目指しています。

[https://tier4.jp/media/detail/?sys\\_id=6yYKD6QenlQuWcZjTXEaxq&category=NEWS](https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=6yYKD6QenlQuWcZjTXEaxq&category=NEWS)

●東京・日本橋エリアの移動を便利にする MaaS サービス「&MOVE 日本橋」実証運行第二弾を2023年9月4日より開始 Near Me などとの共同プロジェクトによりオンデマンド型の相乗り交通サービスを展開【Share Tomorrow、三井不動産、ニアミー】

株式会社 Share Tomorrow は、三井不動産株式会社および株式会社 Near Me と共同で、東京・日本橋エリア版 MaaS「&MOVE 日本橋」の実証実験を開始しました。実証実験は、2022年9月から2023年3月まで行った第一弾の実証実験に続く第二弾となり、オンデマンド型の相乗り交通サービスで日本橋エリアのさらなる利便性向上を目指します。実施期間は、2023年9月4日から2024年2月29日までです。

[https://sharetomorrow.co.jp/pdf/20230904\\_ShareTomorrow%20MaaS%E5%AE%9F%E8%A8%BC%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9r.pdf](https://sharetomorrow.co.jp/pdf/20230904_ShareTomorrow%20MaaS%E5%AE%9F%E8%A8%BC%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9r.pdf)

●岐阜県羽島市でエリア定額乗り放題“mobi”をサービス開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～【Community Mobility】

Community Mobility 株式会社は、羽島市において、人とまちが繋がりコミュニティが生まれる「Community Mobility」をコンセプトとした AI シェアリングモビリティサービス『mobi』を10月1日より提供開始します。『mobi』は、生活圏内の移動において、これまでの徒歩や自転車、マイカーのちょいのりに代わる、新しいスタイルの「共有交通」です。定額料金のため経済的スト

レスがなく、通勤通学や子どもの送迎、買い物、家族での外出など、自由に快適な移動を提供します。

羽島市は、新幹線や鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーなど様々な公共交通が整備されている一方で、マイカー依存が恒常化しているという課題があります。暮らしを便利にする公共交通の実現を図り、移動総量の増加および地域の活性化を目指すべくオンデマンド交通を導入し、地域のニーズを叶える移動サービスとしての有効性を検証します。

[https://www.willer.co.jp/news/press/2023/0911\\_5384](https://www.willer.co.jp/news/press/2023/0911_5384)

●「共同輸配送プラットフォーム」の運用実証を開始 ～サステナブルなサプライチェーンを支える物流網の改善を目指す～【日本電気】

日本電気株式会社は、複数企業の荷物を同一トラックで運ぶ共同輸配送の取組を容易かつ効率的に実現するため、デジタル技術を活用した共同利用型のサービスプラットフォームの運用実証を花王株式会社、日通 NEC ロジスティクス株式会社、三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社、横河電機株式会社など各社の参加のもと、2023 年 9 月から 2024 年 3 月まで実施しています。

[https://jpn.nec.com/press/202309/20230912\\_01.html](https://jpn.nec.com/press/202309/20230912_01.html)

●電気小型トラック「eCanter」新型モデル約 900 台を全国に導入【ヤマト運輸】

ヤマト運輸株式会社は、三菱ふそうトラック・バス株式会社が開発した電気小型トラック「eCanter」新型モデル約 900 台を、2023 年 9 月から全国に順次導入しています。2 トントラックの EV は、ヤマト運輸株式会社における初めての導入です。

[https://www.yamato-hd.co.jp/news/2023/newsrelease\\_20230912\\_1.html](https://www.yamato-hd.co.jp/news/2023/newsrelease_20230912_1.html)

●自動運転技術を活用した次世代の物流システム構築を目指す株式会社 T2 へ出資 ～日本初の自動運転トラックに対応した物流ネットワーク構築を支援～【JA三井リース】

JA三井リース株式会社は、レベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送サービス提供を目指す株式会社 T2 に出資しました。物流業界は、宅配需要の増加等により、ドライバー不足が社会問題となっており、今後、労働人口の減少や法改正により問題がさらに深刻化すると考えられています。T2 は、これら課題に直面している物流業界に対し、主要物流拠点間を往復する「レベル 4 自動運転トラック幹線輸送サービス」の提供を目指しています。効率的で安全な輸送を実現し、物流業界の未来を支えるサービスです。

<https://www.jamitsuilease.co.jp/news/pdf/20230901.pdf>

●EV トラック普及拡大に向けた経路充電の実証実験を開始【日本電気、ENEOS、日本通運】

日本電気株式会社、ENEOS 株式会社、日本通運株式会社の 3 社は、EV トラックの普及拡大に向けた経路充電の実証実験を福岡県内にて開始しました。実施期間は、9 月 5 日から一か月です。

[https://jpn.nec.com/press/202309/20230904\\_01.html](https://jpn.nec.com/press/202309/20230904_01.html)

●業界初「EV ボトルカー(茶殻配合軽量パネル搭載型)」を、2023 年 10 月より順次導入開始 環境負荷低減(CO<sub>2</sub> 排出量ゼロ・茶殻リサイクル) × 社員の働きやすさ【伊藤園】

株式会社伊藤園は、脱炭素に向けた取組の一環として飲料製品などを積載する営業車“ボトルカー”に、いすゞ自動車株式会社の小型電気トラック「ELFEV」を採用して茶殻配合軽量パネルを架装に搭載した業界初のユニークな EV 車「EV ボトルカー」を、CO<sub>2</sub> フリープランの営業拠点を皮切りに 2023 年 10 月より順次導入します。

<https://www.itoen.co.jp/news/article/56271/>

●国際海上コンテナを使用した国内中継輸送サービス「Sea&RailFT」を開始【NIPPON EXPRESS HD、日本通運】

NIPPON EXPRESS HD 株式会社のグループ会社、日本通運株式会社は、NX グループの内航船「ひまわり」と鉄道輸送の組み合わせにより、国際海上コンテナを国内中継輸送する環境配慮型の輸送手段「Sea&RailFT」を 8 月 24 日から開始しました。トラック中心の輸送形態から鉄道・船舶を利用した輸送形態へ切り替えるモーダルシフトを積極的に進め、複数の輸送モードを組み合わせた柔軟なロジスティクスソリューションの提供と、CO<sub>2</sub> 排出削減に貢献するサービスの創出に取り組んでいます。

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/press/2023/20230823-1.html>

●「秘匿クロス統計技術」を用いて北海道内の移動ニーズを把握する実証実験を開始【JAL、JAL カード、HAC、ドコモ】

日本航空株式会社、株式会社ジャルカード、株式会社北海道エアシステム、株式会社 NTT ドコモは、JAL、ドコモが保有するデータから、ドコモが日本電信電話株式会社の協力を得て開発した「秘匿クロス統計技術」を用いて作成した、JAL 便利用客の移動状況に関する人口統計情報から移動ニーズを把握する、北海道の地域活性化および課題解決に向けた実証実験を開始しました。実験期間は、2023 年 8 月 28 日から 2024 年 3 月 31 日までを予定しています。

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202308/007569.html>

●資源の有効活用で気候変動対策に貢献 百貨店業界初 国産 SAF 製造を目的とした廃食用油の供給に協力する基本合意書を締結【J.フロントリテイリンググループ、大丸松坂屋百貨店、日揮 HD、レポインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY】

株式会社大丸松坂屋百貨店は、日揮 HD 株式会社、株式会社レポインターナショナル、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY の 3 社と、店舗で使用された食用油を国産の持続可能な航空燃料 SAF 製造の原料として供給する基本合意書を 9 月 6 日付で締結しました。

<https://www.daimaru-matsuzakaya.com/assets/news/saf.pdf>

●東京都バイオ燃料活用における事業化促進支援事業採択について ～リニューアブルディーゼルを用いた脱炭素化推進事業～【ANA、伊藤忠エネクス、ONE、三愛オブリ、サントリー、トナミ運輸、NCY】

伊藤忠エネクス株式会社は、オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社、三愛オブリ株式会社、サントリーHD 株式会社、全日本空輸株式会社、トナミHD 株式会社の中核会社であるトナミ運輸株式会社、および日本コンテナ輸送株式会社と、東京都が公募した「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」に共同で応募し採択されました。バイオ燃料であるリニューアブルディーゼルを活用し、東京都の脱炭素化推進に取り組んでいきます。

[https://www.anahd.co.jp/group/pr/202309/20230905-2.html?\\_gl=1\\*wi1o2dn\\*:ga\\*MTUxMTg2NDYwLjE2OTQ1OTEwNTQ.\\*ga.32F297W9WL\\*MTY5NDU5MTA1My4xLjAuMTY5NDU5MTA1My42MC4wLjA](https://www.anahd.co.jp/group/pr/202309/20230905-2.html?_gl=1*wi1o2dn*:ga*MTUxMTg2NDYwLjE2OTQ1OTEwNTQ.*ga.32F297W9WL*MTY5NDU5MTA1My4xLjAuMTY5NDU5MTA1My42MC4wLjA)

●自動運転シャトルで提携【シエフラー、VDL Groep】

シエフラージャパン株式会社と VDL Groep は、公共交通機関向け次世代自動運転シャトルの開発と生産を共同で検討しています。ドイツ・ミュンヘンで開催された「IAA Mobility」国際モーターショーで、初となるデモ車両と、関連するすべての自動車電動化／ステアリング技術を展示しました。また両社は、システムエンジニアリング、開発、生産、そして公共交通におけるそれぞれの技術力と専門知識を結集する意向で、シャトル車両に自動運転システムを提供する Mobileye と提携します。現在は、公共交通当局や事業者とパイロットプロジェクトの開始に向けた事前交渉の段階にあり、プロジェクトのロードマップによれば、路上でのテスト走行は 2025 年開始となる可能性が高いです。

[https://www.schaeffler.co.jp/ja/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%B0%E3%82%B9%E3%83%80%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AE%E3%83%B0%E3%82%B9/press\\_releases\\_detail.jsp?id=87945092](https://www.schaeffler.co.jp/ja/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%B0%E3%82%B9%E3%83%80%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AE%E3%83%B0%E3%82%B9/press_releases_detail.jsp?id=87945092)

●ヨーロッパ最大級の自動車ショー ドイツや中国が最新 EV を披露【ドイツ自動車工業会】

9 月 5 日から 10 日まで、ドイツのミュンヘンでヨーロッパ最大級の自動車ショーが一般公開され、ドイツメーカーと本格展開を狙う中国メーカーが競いあうように最新の EV を披露しました。

EU は EV の普及を促進し、2035 年には合成燃料を除いて、エンジン車の新車の販売を原則禁止するとしており、ヨーロッパ市場では EV シフトが進んでいます。こうした背景から、地元ドイツの BMW は今後の EV 開発の標準となるコンセプトカーを発表し、今後 2 年で 6 つのモデルを販売する計画を明らかにしました。また、フォルクスワーゲンのブルーメ CEO は、9 月 4 日、EU による原則エンジン車の販売禁止を受けて、主力の小型車の EV モデルを発表しました。他にも、ドイツに工場を構えるアメリカの EV メーカー、テスラも出展しました。

これに対して中国企業は、EV メーカーや部品メーカーなど前回の 2 倍以上の 75 社が出展し、ヨーロッパ市場への進出に強い意欲を示しました。特に、EV 販売で中国最大手の

「BYD」は、ヨーロッパ向けに開発したセダンなど新車 2 台を発表するなど、大きな関心を集めました。

<https://www.iaa-mobility.com/en>



---

#### 4. イベント情報

● 第 46 回 EST 創発セミナー in 鹿追〔北海道〕

日時:2023 年 10 月 10 日(火)13:30~16:30

場所:鹿追町民ホールミュージカルホール(オンライン併用)

主催:北海道運輸局、鹿追町、EST普及推進委員会、エコモ財団

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu73.html>

● 第 26 回日本福祉のまちづくり学会 全国大会(宇都宮)連携セミナー「LRT を軸に地域の移動と交通を考える」

日時:2023 年 9 月 29 日(金) 14:00~16:50

場所:栃木県総合文化センター3 階特別会議室

主催:日本福祉のまちづくり学会事業委員会

[https://www.fukumachi.net/taikai/doc/n230929\\_renkei.pdf](https://www.fukumachi.net/taikai/doc/n230929_renkei.pdf)

● 2023 年鉄道ロゲイニング in 四日市

日時:2023 年 9 月 30 日(土)

場所:四日市市周辺

主催:近畿日本鉄道(株)

<https://www.kankomie.or.jp/event/42351>

● 鉄道フェスティバル in 東北

日時:2023 年 10 月 1 日(日) 10:00~15:00

場所:JR 貨物・仙台貨物ターミナル駅

主催:国土交通省 東北運輸局鉄道部

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000300332.pdf>

● 新京成サンクスフェスタ 2023in くぬぎ山

日時:2023 年 10 月 7 日(土)10:00~15:30

場所:新京成くぬぎ山車両基地

主催:新京成電鉄(株)

[https://www.shinkeisei.co.jp/official/wp-content/uploads/2023/09/20230901\\_release\\_thanksfesta.pdf](https://www.shinkeisei.co.jp/official/wp-content/uploads/2023/09/20230901_release_thanksfesta.pdf)

● 新幹線フェスタ 2023in 長崎・熊本

日時:(長崎)2023 年 10 月 7 日(土)10:00~15:00

(熊本)2023 年 11 月 3 日(金)10:00~15:00

場所：(長崎)JR 九州大村車両基地  
(熊本)JR 九州熊本総合車両所  
主催：九州旅客鉄道(株)

[https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/\\_icsFiles/afeldfile/2023/09/05/230905\\_shinkansen\\_festa2023\\_nagasaki\\_kumamoto\\_3.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/_icsFiles/afeldfile/2023/09/05/230905_shinkansen_festa2023_nagasaki_kumamoto_3.pdf)

●第 30 回「鉄道の日」記念イベント

日時：2023 年 10 月 7 日(土)9:30～10:15(オープニングイベント)  
10:15～16:00(第三会場は 10:00 開場)

:2023 年 10 月 8 日(日)10:00～15:00

場所：金山南ビル東側出入口前広場(オープニング会場)  
金山総合駅連絡通路橋イベント広場(第 1 会場)  
金山南ビル 1 階屋内イベントスペース(第 2 会場)  
金山南ビル 11 階名古屋都市センター(第 3 会場)

主催：「鉄道の日」中部実行委員会(中部運輸局鉄道部計画課)

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/tethudo2023091501.pdf>

●第 30 回「鉄道フェスティバル」

日時：2023 年 10 月 8 日(日)10:00～17:00

:2023 年 10 月 9 日(月・祝)10:00～17:00

場所：お台場イーストプロムナード「石と光の広場」、「花の広場」

主催：「鉄道の日」実行委員会

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01\\_hh\\_000193.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000193.html)

●ゆるくまわろう！！鉄口ゲ in 生駒市・東大阪市

日時：2023 年 10 月 9 日(月)

場所：生駒市・東大阪市

主催：近畿日本鉄道(株)

<https://www.kintetsu.co.jp/zigyou/rogaining/>

●めでたいでんしゃで行く！ Well-being Tour

日時：2023 年 10 月 9 日(月・祝)9:10～15:35 頃

場所：磯の浦海水浴場、深山砲台跡、休暇村紀州加太等

主催：南海電鉄(株)

<https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230906.pdf>

●空港施設ユニバーサルデザインセミナー in 羽田

日時：2023 年 10 月 12 日(木) 12:00～10 月 13 日(金) 16:05



場所:ハイブリッド開催(東京国際空港(羽田空港)第3ターミナル/TIAT SKY HALL+  
オンライン配信)

主催:アクセシブルデザイン推進協議会(ADC)

<https://eventregist.com/e/qfA60Ui8ehlg>

●三次鉄道部 鉄道の日イベント

日時:2023年10月14日(土)10:00~14:00

場所:JR 三次駅

主催:西日本旅客鉄道(株)

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230911\\_00\\_press\\_miyoshitetsudoubu\\_event\\_1.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230911_00_press_miyoshitetsudoubu_event_1.pdf)

●第30回「鉄道の日」記念イベント「駅祭テイング 2023in 中之島公園」

日時:2023年10月15日(日)10:30~16:00

場所:中之島公園大阪市中央公会堂前

主催:「鉄道の日」近畿地区実行委員会

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000302648.pdf>

●鉄道わくわく大運動会 in みなかみ

日時:2023年10月15日(日)10:00~15:00

場所:水上駅 SL 転車台広場ほか

主催:東日本旅客鉄道(株)高崎支社

[https://www.jreast.co.jp/press/2023/takasaki/20230908\\_ta01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2023/takasaki/20230908_ta01.pdf)

●新幹線ふれあいデー

日時:2023年10月15日(日)10:00~16:00

場所:JR 西日本 博多総合車両所

主催:西日本旅客鉄道(株)

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230807\\_00\\_press\\_hureaiday.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230807_00_press_hureaiday.pdf)

●自動配送ロボットに関する自治体首長サミット

日時:2023年10月16日(月)13:30~16:00

場所:オンライン開催

主催:経済産業省、NEDO

<https://www.meti.go.jp/press/2023/09/20230904002/20230904002.html>

●物流業界の「2024年問題」対策セミナー

日時:2023年10月20日(金)13:30~16:00

場所:ハイブリッド開催(札幌パークホテル3階「エメラルド」+オンライン配信)  
主催:北海道運輸局、北海道労働局、北海道トラック協会、北海道トラック輸送における  
取引環境・労働時間改善地方協議会

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/content/000302677.pdf>

●きんてつ鉄道まつり 2023in 五位堂

日時:2023年10月21日(土)10:00~16:00

:2023年10月22日(日)10:00~15:00

場所:五位堂会場(五位堂検修車庫)

主催:近畿日本鉄道(株)

[https://www.kintetsu.co.jp/all\\_news/news\\_info/20230907.pdf](https://www.kintetsu.co.jp/all_news/news_info/20230907.pdf)

●ファミリーレールフェア 2023

日時:2023年10月22日(日)9:30~15:30

場所:京阪電車寝屋川車両基地

主催:京阪HD(株)

[http://www.keihan.co.jp/corporate/release/upload/230825\\_keihan-holdings-familyrailfair.pdf](http://www.keihan.co.jp/corporate/release/upload/230825_keihan-holdings-familyrailfair.pdf)

●「京成電鉄宗吾車両基地キッズフェスタ」

日時:2023年10月28日(土)11:00~15:00

場所:京成電鉄宗吾車両基地

主催:京成電鉄(株)

<https://www.keisei.co.jp/news/detail.php?CN=6147>

●ラッセル車両撮影会 in 旭川運転所

日時:2023年10月28日(土)9:30~16:00

場所:JR北海道旭川運転所

主催:北海道旅客鉄道(株)

[https://www.jrhokkaido.co.jp/CM/Info/press/pdf/20230908\\_KO\\_photo.pdf](https://www.jrhokkaido.co.jp/CM/Info/press/pdf/20230908_KO_photo.pdf)

●エンジョイエコドライブおかやま

日時:2023年10月28日(土)9:00~16:30

コース:岡山運輸支局~おかやまフォレストパークドイツの森(往復)

主催:日本自動車販売協会連合会岡山県支部、岡山県軽自動車協会

<https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/content/000302784.pdf>

●みんなで描こう! 鉄橋トレインスケッチ大会&トロッコ列車ピクニック

日時:2023年10月29日(日)9:30~16:30

場所:立野ダム展望所、カフェトレイン

主催:九州運輸局鉄道部計画課

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000302043.pdf>

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000302045.pdf>

●乗用車のエコドライブ講習認定申請のための2023年度インストラクター養成研修会

日時:2023年11月2日(木)9:30~16:00

場所:ファインモータースクール 大宮校

主催:エコモ財団

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/instructor\\_training\\_course-mousikomisyo20231102.pdf](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/instructor_training_course-mousikomisyo20231102.pdf)

●地域循環共生圏フォーラム2023

日時:2023年11月7日(火)9:30~17:00

場所:オンライン開催

主催:環境省

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02141.html](https://www.env.go.jp/press/press_02141.html)

●きんてつ鉄道まつり2023in 塩浜

日時:2023年11月11日(土)10:00~15:00

:2023年11月12日(日)10:00~15:00

場所:塩浜会場(塩浜検修車庫)

主催:近畿日本鉄道(株)

[https://www.kintetsu.co.jp/all\\_news/news\\_info/20230907.pdf](https://www.kintetsu.co.jp/all_news/news_info/20230907.pdf)

---

## 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://mm-education.jp/magazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組や話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomoto.or.jp](mailto:magazine@ecomoto.or.jp)(担当: 中道)

---

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

ESTポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>